

科目名		運動生理学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
身体運動による生体内での変化・反応を、その仕組みとともに理解すること。 運動前の安静時の生理学的基準値も覚えること。									
〔授業全体の内容の概要〕									
使用テキストの内容に沿って、各項目を分かりやすく説明を加えながら学習していく。 また実習演習を交えて、体験的に運動生理を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
運動による生理学的変化を述べることができる。									
回数	講義内容								
1	総論 筋収縮とエネルギー								
2	筋線維、実習、トレーニング								
3	神経系と筋の収縮様式								
4	神経系と筋の収縮様式								
5	運動と循環								
6	運動と呼吸（その1）								
7	運動と呼吸（その2）								
8	運動処方								
9	筋疲労の原因								
10	運動と体温調節								
11	運動と栄養								
12	身体組成								
13	運動と生活習慣病								
14	加齢に伴う身体変化								
15	まとめ								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
入門運動生理学 第4版					勝田 茂		杏林書院		
(参考図書) リハビリテーション運動生理学					玉木 彰		MEDICAL VIEW		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて判定する									